

# 自己評価結果公表シート

平成 28 年度門真めぐみ幼稚園

## 1、園の教育目標

寺院より発祥した歴史的な基盤をもとに「あたたかい心の教育」を実践しています。それゆえに教育方針は「精神的には良寛上人に学び、その実践的技術は現代に学ぶ」を根底におき次のような「五つのちかい」により子どもたちの目標像を明らかにしています。

- 一、私たちは良き挨拶をする子どもになります
- 一、私たちは良きビジョンをもつ子どもになります
- 一、私たちは良く学ぶ子どもになります
- 一、私たちは良く感謝する子どもになります
- 一、私たちは良く奉仕する子どもになります

この「誓い」は仏教の「五正行」の教えをもとに考案し、子どもたち一人一人の生涯にわたる指針としても役立つものと考えています。

## 2、本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

- 本園の上記の方斜に沿って、園児の発達側面から「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」のそれぞれを、園生活を通して相互に関連を持たせながらバランスよく総合的に指導することとする。語の数が増える幼児期に絵本に楽しむこと、絵本のコーナーを充実「童話・童謡」に親しみを持つ。又古くから伝わる、こどもの日、七夕、お月見、ひな祭りなどの年中行事を園全体の「集い」とし、影絵、人形を使用し、子供たちに親しみながら興味を持たせる。三輪車を体育遊びに導入することにより、ルールを守ること、体を使って遊ぶことの楽しさを知り、体力向上を目指す。
- 預かり保育の保育内容を充実する子育て支援として2歳児の保護者と一緒に過ごす機会を増やす。

## 3、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	評価	取 組 状 況
保育内容及び指導のあり方等を精査し、教職員間の共通理解をはかる	A	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 保育内容を充実させるために毎週学年ごとに話し合い子供の信頼関係を築き、子供の発達・興味を理解し保育の展開をしていく。</li><li>○ 日々の保育の延長上に「行事」(運動会・音楽会 etc)があること、経験することにより子ども一人一人が自信を持てるよう適切にかかわる。自由遊びの選択肢を増やすためにコーナー遊びを2学期より始める。</li><li>○ 安全管理については各保育室、遊具の点検票を作成し行っている。防災意識を高めるため、避難訓練を毎月保育の中に取り入れている。</li><li>○ 特別支援については一人一人個々により発達が違うので指導計画を立て時には、市の発達相談を踏まえ、また保護者の意見も重視しながら個別支援計画を立てている。</li></ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 食育については、給食時と赤・緑・黄色の色分けをもとに子どもたちと話し合う楽しい雰囲気の中で学べるよう工夫すると同時にマナーも学習。園庭に野菜を中心に四季折々の草花も育てている。クラスごとに夏野菜を栽培し、冬もカイワレ等を栽培している。</li> </ul>
教育の質の向上のために、園内研修を充実させる	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 絵画・制作では学年ごとに講師を招き、発達段階に沿った「あそび」を学び、子ども達に還元する。</li> <li>○ 表現遊びではリトミックを中心にリズムの会を開催し、他のクラスを見ることにより担任が学べる体制を採っている。</li> <li>○ 体育遊びは講師を招き、年間カリキュラムを作り行う。学期ごとに講師より研修を受けている。</li> <li>○ 外部研修に参加後はレポートを提出し、同時に保育に活かせるように考える。</li> </ul>
保護者のニーズの把握に努め、要望や苦情に適切な対処を図る	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 懇談会、行事終了後の保護者よりの手紙や幼稚園評価アンケートを通して保護者のニーズの把握をする。</li> <li>○ ミマモルメ導入により保護者の要望である保健衛生情報、例えばインフルエンザ、麻疹、水疱瘡等を手軽に知らせることが出来ている。</li> <li>○ 保護者の要望(クレーム等)は真摯に受け止め、園全体で把握、素早く対処し、終了で職員に共通理解をしている。</li> <li>○ 子供についての相談等、担任は時間の許す限り保護者とコミュニケーションを取るようにして信頼関係を築いていく。</li> </ul>
地域社会との連携	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市全体の中学の職業体験を受け入れている。</li> <li>○ 園庭開放やめぐみ広場を通して地域の人々と交流し、HP や園の正門、バス等で行事を周知し地域の安心できる遊び場として、又、子育てのセンター的な役割が果たすことができるよう努力している。</li> <li>○ 市の運営している「プラザ」で未就園児を対象に年に2回子育てを支援、2時間程度のプログラムを行っている。春・秋の交通安全・防犯キャンペーンに参加するなど、門真警察、門真市まちづくり課と連携を計っている。</li> </ul>
情報公開	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 園だよりやホームページで園の方針や教育活動などを伝えるように努めてきた。22年度より「毎日のできごと」等、クラス単位での活動をホームページで公開し、毎年さらなる充実を目指している。</li> <li>○ HP 上に「情報公開」の項目を公開している。</li> <li>○ 子育て支援(園庭開放・めぐみ広場・さくらんぼ組)の日程をトップページの「おたより欄」に掲載し、地域の方々に伝えている。</li> </ul>

A. 十分達成されている    B. 達成されている    C. 組み込まれているが、成果が十分ではない  
D. 組み込みが不十分である

#### 4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 園の特色教育の充実に向け、自己点検、自己評価を実施することにより、更に日常の教育の見直しにつながった。今後も客観的に教育・保育を自らが捉えることにより、更に充実した実践が出来るように努力している。</li> <li>○ 日々の保育や行事の内容を検討し、見直していき、積み重ねを大切にしながら子供たちの自信や意欲につながるよう改善していきたい。</li> <li>○ 園が「子育て支援」の情報を発信していくことにより地域とのつながりや家庭との連携を深めることになるので、HPを充実する。</li> <li>○ 基本的な生活習慣の自立に向け、年齢に応じて指導を継続的に行っていこうと考えている。</li> </ul>
---	---

- A. 十分達成されている    B. 達成されている    C. 組み込まれているが、成果が十分ではない  
D. 組み込みが不十分である

#### 5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
園に対する保護者の満足度の把握	保育内容については保護者の満足度が高いが、行事の時の保護者マナーの悪さ(駐車、駐輪、ゴミ、手伝ってくれる各役員への感謝など)が目立つ。マナーを守っている保護者からの要望が多くあり、次年度の課題としている。 園での子供の様子が知りたいという要望があり、これも次年度の課題としたい。
子育て支援の充実	市よりの「幼稚園預かり保育事業」を受けたことにより休み中の預かり保育が充実。未就園児保育も好評で「めぐみ広場」は回数を増やし、充実を図る。
心を育てる教育	仏教園ならではの特徴性を生かし 1、教師や友達のかかわりを通して、思いやりや自己肯定感を育てていく 2、ルールやマナーを守り、相手の立場に立って考える等規範意識を育てていく。 上記を踏まえ、運動会・生活発表会・絵画制作展などの「行事」を通して、教師との関わりの中で自尊感情、自己有用感を育む。
インクルーシブ教育	様々な特性を持つ子どもと関わる中でお互いを認め合い助け合うことができるようクラスを編成し、思いやり、優しさを育てていきたい。

## 学校関係者評価

- 絵画・音楽・体育・ダンスなど、専門の講師が園児に直接、間接に指導することにより保育者が保育にそれを生かし、多彩なメニューにより、子供達が様々な経験を積みかさね、その中で友達といつ楽しさや大切さを学んでいるように感じる。
- 給食内容の見直しのより、牛乳やチーズが増えたことが良かった。
- 市の行事に参加することで、保護者だけでなく多くの人に鼓隊などが見てもらえ、子供たちの地震にも繋がっている。
- ラクダブドームだけでなく、園のプールの増設で入る機会が増え、ラクダブに行けない小さい子供にも水に触れる機会があり良かった。
- 幼稚園のプールも大きくなり、子供たちものびのび遊べて良かったです。
- 給食の品数も増えて、子供たちも喜んでいます。
- 最近保護者のニーズが多様化してきているが、イエスマンであってはならない。「NO」と言えるようになっていかなくてはならない。
- 先生と保護者の関係がおかしくなっている。